Star Fish Journal

2012年6月アーカイブ

柏の葉

tsuji (2012年6月29日 14:48) | コメント(0) | トラックバック(0)

休日を青空の下で、集まって
お金をあまり掛けずに楽しみ、
帰りに近くのショッピングモールでの
買い物ということもあるでしょう。

緑やストレッチング、茶道の講習会と
自然、スポーツ、芸術、文化を愉しむ
のに広い空間である柏の葉は、
どの活動にということがはっきりとは
私としては分からないという印象もあって、
自転車でブラっと来て、眺めてみました。
ちょっと距離はあって、どのぐらいかかるか
も大体分かりました。

他の街と違い、関東の都心に近い公園には、
リスが生息しているのか、この近辺では
いないと思うのですが、どうでしょうか。

まだ、夏の日差しを遮るぐらいには
なっていなく、八百屋やスーパーで売っているものも
遠くから運ばれてきたものでしょう。
以前に種を保険屋さんが、涼しく節電するために
配っていました。普通郵便で着いて、1個かぐらい
以外は潰れたりしてしまっていて、そういうリスク
を考えていたのか気になりましたが、そういう人
には再度、プチプチのに包まれて送られてきました。

カテゴリ

月別 アーカイブ

2013年1月 (4)
2012年12月 (5)
2012年11月 (6)
2012年10月 (4)
2012年9月 (6)
2012年8月 (5)
2012年7月 (6)
2012年6月 (7)
2012年5月 (4)
2012年4月 (6)
2012年3月 (6)
2012年2月 (6)
2012年1月 (8)
2011年12月 (9)
2011年11月 (5)
2011年6月 (3)
2011年5月 (1)
2011年3月 (1)
2011年2月 (4)
2011年1月 (7)
2010年12月 (6)
2010年11月 (4)

ウェブページ

このブログを購読

POWERED BY MT 5 MOVABLE TYPE®

検索

検索

このアーカイブについて

このページには、**2012年6月**に書かれたブログ記事が新しい順に公開されています。

前のアーカイブは2012年5月です。

次のアーカイブは2012年7月です。

最近のコンテンツはインデックスページで見られます。過去に書かれたものはアーカイブのページで見られます。

暑くなれば、ボートで風を切るのもいいかもしれません。
涼しい風か湖面を横切り、泳ぐ魚や鳥の姿で気分的に
冷やされるかもしれません。
暑くなったからといっても、溺れてしまうかもしれま
せんので飛び込まないほうがいいと思いますし、
実際はこの池の規模なので、速く走るボートは無理で、
漕いで隣と競争すれば、熱くなってしまうかもしれません。

岸辺で涼みながら、バーベキューを、公園には何も事前に
準備してもってこなくてもできますし、
松柏亭で、庭園を眺めながらアイスをいただきました。
予約してお稽古事や囲碁将棋にも使えるようです。

現在は、こちらの方が客席数は大分あるとおもいますが、
日立の方でレイソルは試合をするみたいで、この日は
誰かの声はしていましたが、入れませんでした。
野球場では球場の周囲や階段をユニフォーム姿の少年が
走り、中でも試合をしていました。

公園内は、斜め上から見るとこんな感じです。
花も様々に咲いていましたが、バラ園も手入れ中で、
この日は外からの眺めでした。

どんな願いには

tsuji (2012年6月26日 16:31) | コメント(0) | トラックバック(0)

道を隔てた反対側にあります。
上野公園の方と神田の方とでは
ガイドなんかでもページが別れて
しまっていて、
意外とどことどこが近くて遠いいのか、
ぜひ歩いてみてください。

■湯島天神

この日は季節ではないので、よく見忘れ
ましたが、よんだ和歌に梅もでてきて、
道真公祀を慕い境内に木も多いのでしょう。

学問の神様として知られ、
牛とだるまが描かれた絵馬が見えますが
合格祈願とお礼のそれぞれを表す絵柄
ということです。だだ、お守りは合格
のためというよりは、普段からの勉強の
成果を出すということで、受かったから、
落ちたから？とないがしろにせず、
一年ぐらいは取っておくようにします。

■神田明神

神田、日本橋、秋葉原、大手町、丸の内、
旧神田市場、築地魚市場ー108町会の総氏神
で、商売繁昌の神様という
今まではイメージでしたが、まさかど様も

奉祀されています。神田祭は一帯をあげて
で行われます。現在は山車に代って町御輿
が主流となっています。

■湯島聖堂

林羅山の儒学の私塾がここに移され、
後に、官学の府として昌平坂学問所が開設されます。
孔子を祀り論語を学んでいました。
明治政府により、もとは文部省や国立博物館、
師範学校、女子師範学校、初の図書館が置かれて、
近代教育発祥の地でもあるということです。

■ニコライ堂

ロシア人修道司祭(のち大主教)聖ニコライに
ちなんでいますが、日本正教会の首座主教座大聖堂
であって、ロシア正教会の聖堂ではないということです。
駅では長いエスカレーターで乗り換えるという印象を
この前通った時にはそれほど感じさせませんでしたが、
この坂の途中の上の方にあります。

以前には、上まであがりましたが、この日は建物の
入り口は閉まっていました。登ってみると、
皇居を見下ろすということで、建設は右翼の妨害も
あったようですが、武士の精神が容貌に現れている
ということで、そのようなことも姿を消しました。

金唐

tsuji (2012年6月19日 06:15) | コメント(0) | トラックバック(0)

建物内の装飾は、日曜日に訪れた旧岩崎邸
では、少し注意して見ないと、建築の陰に
隠れてしまい、そのものとしては考えが
届かないところです。

その時間には、保存技術者の上田尚さんも
いて、少しお話を伺うことができ、
ヨーロッパでの個展のことや金唐紙の
現在の日本でのことについて、
版木、伯張り、ブラシなどこちらが
分からないことも教えてもらいました。
日本は西洋化として、西洋は日本的なもの
としてこれを受けとめる、ということです。

和館は、廊下から先まで行って
途中からその先は改装中でした。
そこでは畳の匂い、
最後に気になったのはいつ頃の
ことか、鮮明でした。

旧邸宅敷地の一部にすぎず、この辺一帯に居を
構えた三菱の岩崎家ということで、その繁栄ぶり
やGHQが接収したということで、戦後の財閥など
明治からのものと第二次世界大戦後のもの、現在
が始まったとされる説などもありますが、
ここはもともと榊原家の中屋敷でしたということ

です。

明治の頃からビリヤード専門の部屋があって、
この日は台は置いてなく、入れませんでしたが、
確か地下の通路でつながっています。

帰るときに、地面から飛び立つ
カラスの姿を追いかけました。
まだ、巣に居たぐらいの子供でしょうか。
親鳥がもし見ていたら、私の方が攻撃されてしまう
かもしれませんが、写して、まだ飛ばない鳥を
残し、池之端から歩きました。

大仏と言えば

tsuji (2012年6月15日 06:10) | コメント(0) | トラックバック(0)

自転車では行ける近さでなく
電車も通っているけれど、
車で。

ネットで見てみると
鎌ヶ谷大仏駅

からそれほどかからない
けれど駐車場がとかがないとか、
目の前というか商店街のすぐ前
で大仏を聞いてしまったなど
あり、コインパーキングを見つけ
私もその辺を
ぐるっと回ってしまいました。

高菜魚かけ飯（白身魚と高菜のかけご飯）

昼に、入った店では、家の近辺で
自転車に乗っている人が営業用かに
来ているTシャツを着ていました。
入ったことなかったので、
そちらにも行ってみます。

札だかぶら下げている人も大仏を
見に来ていて、駅で案内の人に
東葛まち歩きツアーの話を聞いて
ただだということがわかり、パンフレット
などをもらってきました。

開眼供養には僧侶50人あまりを請じ、
江戸の高級料理屋八百膳で300人前の
料理を用意しとあり、
ちょっとこれってどのくらいの規模だか
想像が付かないという感じです。
駅名からして、大仏の所属というか、
現在は誰のものか少し悩みます。

交通量の多い分かれ道の横断歩道
に立っている案内の方のところで話し、
ひとつ家へ人を吹き込む枯野かな　魚文
がありました。
その（ぽつんと建った）家に、魅力ある
方がいて集まるという風景ですか。
説明ありませんでした。

大雨対策か雨が降らない時期のため
の飲料用とも思われる池ですが、
野馬の水呑み場跡であって、牧場も
どれくらいの規模だったのでしょう。

ふたつ葉の葵

tsuji (2012年6月12日 20:10) | コメント(0) | トラックバック(0)

広い庭は和洋折衷でできていて、
四季折々の花が楽しめるということで、
休みの日には方々から訪れる方もいます。
昭武は13の時に、パリへ将軍の名代として赴き、
ヨーロッパ各地を周り、パリへ戻り
留学生活を送りました。

30ぐらいの時に戸定邸に住み始め、
庭も海外での経験が活かされているようです。
歴史館と戸定邸を除く公園内は無料ですので、
富士山やスカイツリーを、天気に左右されてしまう
かもしれませんが、遠くから眺めながら、幕末から
明治への移り変わりや当時の人々について考えを
馳せてみるのにいいかもしれません。

聞いてみると、葵に三っ葉は生えないそうで、
四っ葉のクローバーみたいに、見つけられない
けれどたまにあるということもなく、ないそうです。
紋章は家によって三っ葉葵でも、微妙に違うということです。
庭先にも葵は植わっていて、咲いた花の写真も見せてもらいました。

ひなげしと遠く異る

身となりぬ

松戸の丘に寄りて思へば

公園内には与謝野晶子の歌が書かれた石碑が
多数ありました。詳しい解説や松戸のこと、
説明がないのが残念でした。

公園で鳥は自由に飛んでいたというか
巣があるみたいでした。襖の上のなんという名称か
一週経ち思い出せませませんが、それぞれ家元のを表し、
鳥のもあるのでしょう。

* ブログを書いた後で思い当ったのですが、ガイドさんにお話を聞いて
その中で、蝙蝠のこともあったので、それですが、鳥なのかと
思いますし、なにかいいことの象徴でもある、話です。

海を渡った日本の

tsuji (2012年6月10日 09:22) | コメント(0) | トラックバック(0)

美術館に入館するのに並ぶこともありますが、、
中にも人がかなりたくさんで、絵巻のところは特に
割り込むという訳にもいかず、最後に中の売店を
出て閉館前に、もう一度行った時も、よく見れません

でした。

東京ではもう終わってしまうみたいです。
次に名古屋に回るのでそちらではみられるみたいです。

Museum of Fine Arts では
Dance at Bougival 何かが印象にあります。

京都市美術館ではボストン美術館展、西洋絵画の巨匠たち
で、どんな絵が来るのか分かりませんが、
以前私は休みの日に行ってしまい、
その時には
ハンカチ落としというか何だかよくわからないこと
がありました。

今回は　ボストン美術館　日本美術の至宝

ボストン美術館では本展の開催にあたり、その出品作品の
ほとんどを、5年間にわたって公開を控えていたとあり、
東洋美術の殿堂と称されているということですが、
ここでないと見れないということもあるみたいです。

日本画は、絵巻なんかも右から左（左から右？）に見て
行っても様々な場面の物語性があって、小さいところまで
細かに描かれているように思います。一人の画家が描いた
ものでないとすると全体として揃うのはどうすればいいの
か少し気になります。

仏画はそれぞれの絵に描かれた表情が様々に思えて、
人々がどんな思いで、何を求め信仰の対象としていたのか、
またそれを人々が表すため、また信じるように？描かれた
など考えましたが、私は詳しくないところも多いです。

今回は第六章までとテーマが広く、多岐にわたっているため
様々な時代の、剣や綺麗な着物なども、時間を掛けて
（掛かり）見ることができました。

*撮影禁止で画像が少ないため一部ネットの画像を
縮小したものもあります。

こちらと比べるとどのくらいなのかは分かりませんが、
そちらも間から見え、少したってもし登るのにも空いたら
真下ぐらいにも行きたいです。

公園には魚はいないような池もあって、休みの日に
座ってゆっくりとしている人たちも多い、ちょうどよい
ぐらいの日和でした。

色彩と造形的調和

tsuji (2012年6月 2日 09:10) | コメント(0) | トラックバック(0)

人間の視覚が実は二次元にも三次元にも
還元できない一種の統一性をもっていることに
依拠しつつ、それを反映させた絵を描こうとする。

視覚の原理が決して科学的な遠近法に従うものでは
ないことを証明してやる、といった意気込みである。
*セザンヌとその時代 浅野春男 東信堂

絵画には二つのものがある、
目と頭脳だ。それらは互いに協力して発展
するように働かねばならない。
目は自然のビジョンのためにあり、頭脳は、
表現手段をもたらす組織化された感覚の
論理のためにある。
*同書　エミール ベルナール

多くの画家に多大なる影響を与える、
近代絵画の父、巨匠として現在でも
有名なため今回の展覧会、

セザンヌ パリとプロヴァンスでの解説でも
有名な逸話や若い頃からの絵からも、
華々しい 画家としてと思われるような
説明の仕方でした。
美術学校(エコール デ ボザール)の試験に落第し
1861 次の年にも再び落ちてしまい、
サロンにも連続して不合格になっているということです。
実際に機関で絵の教育を受けてこのような絵が
描けるように なったようでもないですし、
サロンへの合格が芸術家としての 社会的認知や
一般の人が絵画を購入するかどうかの基準でもあり
若い頃は、かなり苦労したようです。他の有名な
画家との交友関係もあげられますが、

ルノワールやモネ、ドガ、ピサロが参加した
いわゆる 第二回印象派展には、
引き続いては、出品していなかったり、
第三回には出品したもののセザンヌの作品は観客の
哄笑を 浴びたようです。

金銭的には、妻や息子がいましたが、
その存在を隠し、
銀行家として成功をした 父から援助を
もらっていましたが、
その存在がばれて 減額されたということです。

« 2012年5月 | メインページ | アーカイブ | 2012年7月 »

Powered by Movable Type